

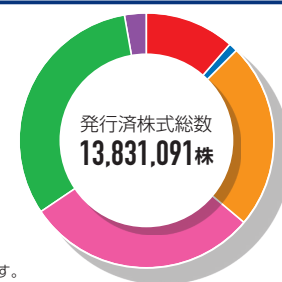
株式状況	(2019年9月30日現在)
発行可能株式総数	19,900,000株
発行済株式総数	13,831,091株
株主数	12,647名

大株主(上位10名)	(2019年9月30日現在)
株主名	所有株式数(株) 持株比率(%)
平澤 創	4,788,538 35.56
RMB JAPAN OPPORTUNITIES FUND, LP.	1,518,310 11.27
BNYM NON-TREATY DTT	627,770 4.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	471,800 3.50
株式会社第一興商	367,363 2.72
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	325,300 2.41
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	320,079 2.37
吉本興業ホールディングス株式会社	206,870 1.53
BNYM TREATY DTT 15	186,300 1.38
NPBN-SHOKORO LIMITED	171,840 1.27

※当社は自己株式を365,664株所有しておりますが、上記大株主から除いております。  
 ※持株比率は自己株式(365,664株)を控除して計算しています。  
 ※持株比率は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。

所有者別分布状況(%) (2019年9月30日現在)

	構成比
金融機関	11.58
証券会社	0.92
外国法人等	23.68
その他法人	29.38
個人・その他	31.81
自己名義株式	2.64



※発行済株式総数 13,831,091株の構成比率です。  
 ※構成比の表示単位未満の端数は、四捨五入して表示しています。

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	☎0120-782-031
公告方法	電子公告 <a href="https://www.faiith.co.jp/ir/koukoku/">https://www.faiith.co.jp/ir/koukoku/</a> ただし、電子公告による公告をすることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載して行います。
お知らせ	1. 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三井住友信託銀行株式会社が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関にお問合わせください。 なお、三井住友信託銀行株式会社各支店にてもお取次ぎいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三井住友信託銀行株式会社の本支店でお支払いいたします。 4. 配当金の口座振込をご指定の株主様と同様に、「配当金領収証」により配当金をお受け取りになれる株主様宛にも「配当金計算書」を同封いたしております。配当金をお受け取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の添付書類としてご利用いただけます。(株式数比例配分方式を選択された場合の配当金のお振込先につきましては、お取引先の口座管理機関(証券会社等)へお問合わせください。)
免責事項	本報告書に記載されている将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。実際の業績は、様々な要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。 本報告書に記載している会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

**ウェブサイトのご案内**  
 フェイス・グループ各社のサービスや注目のコンテンツ情報、最新トピックス等を掲載しています。  
<https://www.faiith.co.jp/>

**「PLUSTOKYO」公式ウェブサイトのご案内**  
 銀座にオープンしたミュージックラウンジ「PLUSTOKYO」の情報を掲載しています。  
<https://plustyo.com/>

**株式会社フェイス**  
 〒604-8171  
 京都市中京区烏丸通御池下る虎屋町  
 566-1 井門明治安田生命ビル  
<https://www.faiith.co.jp/>

お問合わせ先 **TEL. 075-213-3933**  
**FAX. 075-213-3833**

# Faith

## Semi Annual Report

2019.4.1 - 2019.9.30

株式会社フェイス | 第28期上半期 営業のご報告





## 音楽の本質的価値を原点に イノベーションで新時代の創成へ

### 新しい時代の幕開けに向け 世界的な構造の変化が起きる前兆を感じる

日本は、消費増税を機にキャッシュレス決済が一気に普及する勢いにあり、また、D2C\*1モデルの民泊サービスも東京五輪開催の前に定着し始めた印象があります。様々なインフラが整備されていて不便さを感じないがために世界基準から遅れていた日本が、2020年を眼前に世界と足並みを揃えつつあることは、良い方向感にあると捉えています。

一方で、一時期世間の注目を集めていたブロックチェーンや仮想通貨の話題は日本では消沈気味ですが、次代のテクノロジーであるブロックチェーンの技術を用いたサービスは、世界中で同時多発的に湧き起こっています。

そうした中、大規模資本を有するGAFA\*2は、芽のあるベンチャー企業を買収し、より巨大化する動きに拍車をかけています。一方でブロックチェーン

の技術を活用した新たなサービスで世の中を動かし、GAFAが世界を席巻する構図の置き換えを狙うベンチャー企業が数多く台頭してきており、今までの構造自体が変化する前兆を感じています。フェイス・グループも音楽ビジネスに限らず、異業種との接点を持ち、全く異なる視点での取り組みも進めたいと考えています。

### ブロックチェーンの技術を用いた 新たな音楽流通の仕組みの構築

音楽流通とブロックチェーンは相性が良いとの見解が多くあります。ただ、現段階では仮想通貨やトークン\*3で取引するサービスの提供に止まっています。これでは大きな変化を生むことは難しく、単体サービスとしての動きは見て取れるものの、一連のサービスとしての全体像はまだ描かれていません。今後、淘汰や統合を繰り返しながらメインプレイヤーが確立される可能性は高く、プロ

ックチェーンの技術を用いた新たな音楽流通の仕組みづくりの真っ只中にあるフェイス・グループも、しっかりとその動向を見極め、サービスの一連性を意識したビジネスモデルの構築を確実に進めていきます。構築のテーマとしては、二つあり、一つは利便性を追求するテーマ、もう一つは音楽流通における根本的な仕組みの構築であり、例えば著作権の管理方法などがあげられます。

フェイス・グループは、すべてを自らで手がけることを前提としていますが、状況に応じて他社との提携やM&A、ファイナンスを実施していくという新たな投資ポリシーを定めました。投資対象となる研究開発については、マーケットがそこにあると確信して行う開発分野と、マーケットがあるかわからなくとも探求しなければならない研究分野とを明確に棲み分けし、シーズマネーの出資を本格化させています。



代表取締役社長  
平澤 創

### 旧来の常識だけに囚われると 大きな過ちを犯しかねない

世界では、2018年にインターネットとテレビにおける広告費総額が逆転しましたが、日本はテレビとインターネットの割合が2:1という状況で、未だにテレビを重視する昭和的な動きは変わっていません。

音楽業界において、商業音楽が5分以内なのは、レコードのドーナツ盤に刻める最大時間が5分だったというだけの理由であるにも関わらず、それが当たり前のように流通し、疑問を持つこともない状況があります。また、モーツァルトもリストもコンサートホールで静かに鑑賞すべき音楽と位置付けられていますが、モーツァルトは宮廷での食事の際のBGM、リストは超絶技巧に加え容姿も端麗で、今でいうところのアイドルでした。音楽のルーツを辿ってみると、現在の当たり前はどこか滑稽なことも多々存在します。こうした囚われはすべて崩壊していいはずであり、5分以内の楽曲をいかに流通させるかということを考えてしまうと、大きな過ちを犯すことになりかねません。

### 連結財務ハイライト

#### 連結売上高 (単位:百万円)



#### 連結営業利益 (単位:百万円)



#### 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (単位:百万円)







## 既存事業の維持・拡大を丁寧に行いつつ 新たなマーケットを創造する 破壊的イノベーションの立ち上げを継続する

音楽は社会生活を営む上での必需品ではなく嗜好品です。しかしながら生活に必要な物的財貨やサービスを生産する産業は時代の要請により新しく興ったり、廃れたりしますが、音楽の存在そのものは決してなくなることはありません。時代が変わっても音楽を通じて得られる経験、感覚を楽しむことが不変の価値だからです。

現在、世界的に活況なライブやフェスは演奏者とオーディエンスが一体になって楽しむものであり、太古の昔から行われてきた祭事と何ら変わりありません。時代とともに音楽の楽しみ方は変わる、

それは進化するだけでなく、揺り戻しも大いに起こる。けれど、手法や時代がどんなに変わっても音楽の本質は普遍的です。音楽の本質的な価値はやはり「心を豊かにする」ことであり、音楽の楽しみ方はより自由です。このことをしっかりと意識とどめて新しい仕組みの構築に向かうことが、価値あるサービスを生み出す源泉になると考えています。

現在、フェイス・グループは、すでに展開している事業の着実な維持・拡大を丁寧に進めていくとともに、これまであまり積極的に取り組んでこなかった領域に向け、新たなマーケットを創造する破壊

的イノベーションの立ち上げを継続して行っています。

無から有を生む取り組みを進めている以上、結実する時期については答え難いものがありますが、5年後、10年後も現状のままであるとは考えにくく、確実に新しい世界に近づいているという感覚は高まっています。フェイス・グループは、既存の秩序が変化していくという予兆のなか、収益基盤をより強固にするとともに、新たなマーケットの確立に向け取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

※1 D2C…Direct to Consumerの略。自社で企画・製造したサービス・商品を、直接ユーザーに届けるビジネス形態。

※2 GAFA…グーグル(Google)、アップル(Apple)、フェイスブック(Facebook)、アマゾン(Amazon)の4社のこと。

※3 トークン…既存のブロックチェーン技術を使って作られた通貨。これに対して仮想通貨はそれぞれがオリジナルのブロックチェーン技術をもとに作られたもの。

# Fans'

## ファンとクリエイターを ダイレクトにつなぐ プラットフォーム

当社が持つファンクラブの運営・開発ノウハウを活かし、クリエイターとファンのコミュニティをツイッター上でつくるファンクラブプラットフォーム「Fans'」を新たな機能で提供いたしました。クリエイターはアカウント登録し、ツイッターと連携させるだけで、簡単に利用することができます。

「Fans'」には、ファンが支援金以外に、クリエイターの発信する情報を拡散することで貢献できるプログラムが導入されており、クリエイターはファンたちの発信力を借りて、より多くの人に創作を発信しながら、ファンとともに新しいムーブメントを作ることが可能になります。ファンがアンバサダーとしてクリエイターに貢献するファンクラブは業界初となります。「Fans'」をプラットフォーム化し、SNSと連携することでクリエイターのファンコミュニティを拡大させる新たなソリューションを提供し、より多くのクリエイターの創作活動を支援することを目指してまいります。



# 岡本真夜

M A Y O O K A M O T O

## デビュー25周年に向け 多くの人に心に残る楽曲を 変わることなく紡ぎ続ける

やっていたよかった」と思える瞬間ですね。

——ピアニスト「mayo」としても活躍されています。

私にはこれまで、大きな自然災害が起きたときなどに被災地で歌わせていただく機会がありました。でも、東日本大震災のときは、あまりのショックでしばらくにもすることができませんでした。そんなとき、ラジオ局にリクエストをたくさんいただいていることを知り、音楽とまた向き合うことができるようになりました。ただ、現地には歌自体をまだ受け入れられない人もたくさんいました。そんなある日、ピアノに触っていたらメロディーが浮かんで、歌詞のないピアノ曲でなにかできないかと思ったのです。ピアノ曲を作るときは、いつもどこかに被災地の方々の顔や思いが浮かびます。

### 新作2曲を含む自身初のミニアルバムを発表

——新作『笑顔のおまじない』に込めた思いは？

『笑顔のおまじない』は、おやつタウンというテーマパーク内のショーで毎日かかる曲としての依頼がきっかけです。親子で楽しめるように言葉遊びやリズム遊びを入れ、親目線の歌詞にしました。私も自分の息子に対して、「どうすれば笑顔でいてくれるかな」という思いを紡いで育ててきたので、その思いを歌にしました。じつは、以前さくらもこさんの魔法のような歌詞で、『アララの呪文』と

いう子ども向けの曲を作ったことがあります。そこで、今回もさくらさんとまた一緒に作りたいと思ったのですが、連絡を取ろうとした翌日にお亡くなりになり、残念ながら叶わなかった経緯があります。

——もうひとつの新作『ボクは太陽、キミは月』は？

私がここ数年感じているのは、あたりまえの日常が突然失われることが多い時代になっているということです。だからこそ、自分の大切な人に対して、素直に思いを伝えられる毎日を過ごしたいという思いを込めています。

——デビューして来年で25周年です。

デビュー以来変わらず心掛けているのは、みなさんが元気になれたり優しくなれたり、なにかに気づくことができたりするためのお手伝いをすることです。音楽が持つ不思議なパワーを借りて、多くの方の胸に残る楽曲をひとつでも多く作りたいという思いでやってきました。きっと30周年のときも同じことを言っていると思います(笑)。——最後に株主様へメッセージをお願いします。

私は、音楽は「心のおくすり」だと思っています。だからこそ、いまなにかに苦しんでいる方の心を、少しでも楽にできるような曲をこれからも作りたいと思います。ご声援のほどよろしくお願いいたします。



### 『笑顔のおまじない』

2019年7月31日発売 1,852円+税

新作2曲を含む自身初のミニアルバム。2019年4月に開催した初の単独弾き語りツアーファイナルより、ライブ音源「TOMORROW」「Alone」など4曲も収録。ライブ音源をCD化することも自身初。

PROFILE 1995年デビュー曲「TOMORROW」で200万枚のセールスを記録。以降「Alone」「そのままの君でいて」「サヨナラ」「宝物」「ハビビ パーティ」「アララの呪文」など、次々にヒット曲を創出。2016年には「mayo」として、念願のピアニストデビューを果たす。





